

第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岡 光正 / 副会長：芥川 圭一郎 / 幹事：馬渡 圭一



2025～2026 年度クラブスローガン

例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聡一郎

委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率80%：会員数55名・出席29名・欠席10名・出席規定免除会員11名・ビジター1名
 前々回の修正出席率83.33%：出席29名・メイクアップ0名



会長挨拶 / 岡 光正君



皆さんこんにちは。改めまして本日は、当クラブの名誉会員でもあり、佐世保市長宮島大典様、福岡西 RC 富永雅也様に起こし頂きました。大変お忙し中、誠に有難うございます。

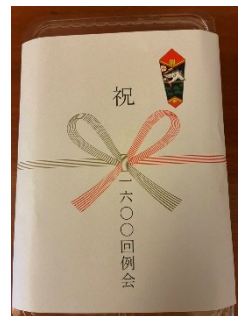
先週2日の石坂ガバナー公式訪問例会では、石坂ガバナー並びに中島地区幹事より、中央クラブに対し高い評価を頂きました。これも偏に、前田ガバナー補佐始め皆様方のクラブに対する熱い想いと、ご協力によるものだと思います。有難うございました。6日月曜日は、第2回目の指名委員会を開催しました。2026-27年度の役員理事候補者の協議を行い、少しずつではありますが、香月エレクト年度も動き始めています。

さて、本日は記念すべく「1600回」例会です。1990年9月29日の設立日が、第1回目の例会だと思います。それから35年の時間が経ち1600回目を迎えました。長い歴史の重さを感じております。来週16日の例会は、創立35周年式典懇親会を「ハーバーテラス SASEBO 迎賓館」で開催致します。古賀委員長を始めとする、式典例会出席委員会、川上委員長始めとする、国際交流委員会の皆様が、一生懸命に準備を進めています。会員の皆様のご出席とご協力をお願い致します。

本日の1600回例会を記念して、私から気持ちばかりですが「紅白饅頭」を準備致しました。受け付けに置いてありますのでお持ち帰り下さい。奥様と1600回の歴史を思い出しながら、食べて頂ければ嬉しいです。

昨日の報道によると、(株)ブランド総合研究所が、「地域ブランド調査2025」市区町村魅力度ランキングとして、全国1000の市区町村の魅力度を調査し、そのランキングを10月4日に発表しています。ベスト50位の中に残念ながら佐世保市は入っていません

でした。50位の中に、長崎県で唯一28位に長崎市が入っていました。九州では、29位の別府市、21位の沖縄市、18位の宮古島市、15位の屋久島町、9位で九州最高の福岡市がランクインしていました。ベスト3位はというと、1位が函館市、2位が札幌市、3位が京都市という結果でした。ちなみに、都道府県ランキングは1位が北海道、最下位47位が埼玉県、長崎県は11位にランクインしています。この後、宮島大典市長から「佐世保市政」についての卓話があります。楽しみにしております。わが街佐世保を元気にしたいという想いは、一市民として同じ気持ちです。本日も最後まで宜しくお願い致します。



Report 幹事報告 / 馬渡 圭一君

1. 例会変更・休会

*ハウステンボス佐世保RC

日時 10月12日(日) 10:00~

場所 エコヴィレッジさいかい元気村

佐世保東 RC 合同 芋掘りみかん狩り

バーベキュー家族例会為

2. 来信

ガバナー事務所

・地区大会についてのお願い

(^_^) ニコニコボックス

福岡西 RC 富永 雅也様

初めてメイクアップさせていただきます。よろしく
お願いいたします。

岡 光正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日はメイクアップとして 福岡西 RC 富永雅也君
にご来訪頂いております。お忙しい中でのご来訪、誠
にありがとうございます。さて本日の例会は、佐世保
中央 RC の名誉会員でもあられます、佐世保市長 宮
島大典様にお越し頂いております。市長御就任から
丸2年、公務も昼夜を問わずお忙しい中お時間いた
だきありがとうございます。本日は、佐世保市の今後
のビジョンや重点施策など、貴重なお話を頂けるか
と思います。市長のお話を会員一同楽しみにしてい
ます。本日もよろしくお願いいたします。

田代 博之君

同級生の富永雅也君の来訪を歓迎いたします。福岡
からわざわざありがとうございます。

芥川 圭一郎君

昨日、映画を二本立てで鑑賞してきました。午前中は
『チェンソーマン』を観て、昼食を挟んで、午後には
『沈黙の艦隊』を鑑賞しました。さすがに二本続けて
は、少し疲れました。明日は、駅裏でクリテリウムが
開催されます。ド迫力のレースが見れますよ。

本日の合計	36,000 円
本年度の累計	546,000 円

本日の卓話

佐世保市長 宮島 大典様

佐世保市の最大の課題：人口減少

・現状分析：市の人口がピーク時の
28万4千人から現在22万7千
人まで減少している厳しい現状が
共有されました。特に20代の若者
層の流出が顕著であり、新卒者の市内就職率が約3割
に留まっている点が指摘されました。その背景には、若
者にとって魅力的な雇用機会の不足や、全国水準と比
較して低い賃金の問題があるとの分析が示されました。
・経済的豊かさの視点：一方で、可処分所得と生活費
(非消費支出)のバランスから見た「経済的な豊かさ」
という指標では、長崎県は全国で11位に位置してい
り、決して魅力がないわけではないと強調されました。
この結果を踏まえ、佐世保市は単なる所得の多寡では
なく、「住みやすさ」や「ウェルビーイング(心身の幸
福)」を市の強みとして追求し、ブランド価値を高めて
いくべきとの見解が述べられました。



シティブランディングプロジェクトと具体的施策

市の付加価値向上を目指す「シティブランディングプ
ロジェクト」が紹介され、その中核をなす4つの柱と具
体的施策が説明されました。

・4つの柱：「子育て」「産業」「地域資源」「文化」をプ
ロジェクトの柱として掲げ、選ばれるまちを目指す方
針が示されました。

・具体的施策の要約：

○子育て支援：中学校給食の無償化を2年生まで拡
大。不妊治療を受ける市民に対し、市外の医療機関へ通
うための交通費助成を開始。高校生世代までの医療費
助成を、従来の償還払いから窓口負担がなくなる「現物
給付化」へ移行。

○産業振興：日米基地の共存共栄を基軸とし、特に艦
船修理を中心とした防衛産業の経済効果を、サプライ
チェーン強化などを通じて最大限地元還元するスキ
ームの構築を目指す方針が示されました。

○地域資源活用：九十九島を「日本を代表するアーキ
ペラゴ(多島海)リゾート」として開発する計画が進行
中(現在パートナー企業を選定中)。また、三浦地区に
MICE機能を持つホテルを公募し、宿泊観光を強化する
計画が発表されました。

○広域連携：ハウステンボス及び西九州佐世保広域
都市圏(12市町)と連携協定を締結し、広域での周遊
観光を促進していくことが報告されました。

○文化・若者支援：市内外の若者が佐世保について考
え、提言するオンラインコミュニティ「させばクロス」
の活動が紹介されました。

・記念事業とイベント：九十九島国立公園指定70
周年記念事業、国民文化祭、そして翌日開催される「ツ
ール・ド・九州」など、市の魅力を発信するイベントに
についても言及されました。

最重要課題：水道料金の改定について

9月議会で最大の懸案であった水道料金の改定につい
て、その背景と内容が詳細に説明されました。

・改定の背景：水道事業は独立採算制ですが、全国的
に施設の老朽化による更新費用の増大と、人口減少によ
る料金収入の減少という構造的な課題に直面している
ことが説明されました。佐世保市においては、これに加
えて以下の固有の課題があると指摘されました。

○地形的要因：坂の多い地形のため、ポンプ所や配水
池などの施設数が他都市より格段に多く、維持管理コ
ストがかさむ。

○水源不足：慢性的な水源不足から、市民に節水を促
す「節水型」の経営を長年強いられてきた。その結果、
使用水量を抑えざるを得ず、必要な費用を賄うために
料金単価を高く設定せざるを得なかった。

・改定幅抑制の努力：料金改定はやむを得ないものの、
その幅を抑制するため、法定耐用年数を超えて施設を
使用する「延命化」、過去20年間で71名の人員を削
減した人件費の圧縮、そして石木ダム完成を前提とし
た将来的な施設の統廃合計画など、最大限の経営努力
を継続してきたことが強調されました。

・改定案と激変緩和措置：上記の努力をしてもなお2
7.5%の財源不足が生じるため、料金改定は不可避で

あると説明。しかし、急激な負担増が市民生活に与える影響を考慮し、市長部局の判断で段階的な値上げ（激変緩和措置）を決定したことが報告されました。一般会計からの補填により、初年度は値上げ幅を10%分、次年度は5%分圧縮する措置が取られます。これにより、一般家庭での影響額は、当初は月額260円の増加、3年目以降は月額408円の増加となるとの見込みが示されました。



SAA：筒井 琢磨
次回例会10月16日 18:00～

結論とお願い

- ・官民連携の重要性：佐世保市が持つ多くのポテンシャルを最大限に活かし、素晴らしいまちづくりを実現するためには、行政の力だけでは不十分であり、民間との連携が不可欠であると強く訴えられました。
- ・ロータリークラブへの期待：最後に、佐世保市の発展のため、佐世保中央ロータリークラブの会員に対し、引き続きの指導と支援を賜りたいと要請があり、卓話は締めくくられました。



memo